

【声明】今も未来も「地球ひとつぶ」で共に生きるために、 日本を大転換する総選挙に！

2021年10月12日
緑の党グリーンズジャパン運営委員会

衆議院の解散・総選挙が目前に迫っています。

岸田首相は、感染症対策の充実を訴え、「新自由主義からの転換」「成長と分配」を軸とする「新しい資本主義」を掲げてこの選挙に臨もうとしています。しかし、安倍元首相をはじめ自民党重鎮の意向に忖度する新政権が、これまでの政治を転換することは不可能です。

この選挙でまず問われなければならないのは、憲法や民主主義を蹂躪し、地域の経済や雇用を破壊した安倍・菅自公政権の政治です。ここから、徹底的かつ根本的に転換することが必要です。

また、この選挙は、深刻化する気候変動と、今後も拡大が危惧される新型コロナウイルスという二つの危機の中で行なわれます。進行する医療逼迫、地域経済の疲弊、女性や貧困層の生活困窮にどう立ち向かい、危機にあえぐ人々のいのちや暮らしをどのように守り、これらの危機を産み出した際限のない成長をめざす社会のあり方・グローバル経済活動からどのように脱却するか、そして基本的な生活財を地域の中で調達する自治・分権・分散型の地域循環社会へどう転換するか、展望が示されなければなりません。さらに、地球規模の問題に立ち向かうために、国際社会－とりわけ途上国－に対して責任を果たしうる積極的な気候危機対策と、周辺諸国との平和や信頼関係の構築も実現していかなければなりません。

今回の総選挙は、そうした日本の政治・経済の根本的な転換へ向けた第一歩です。そのために、私たち緑の党グリーンズジャパンは、想いや方向性を共有する候補者と政策協定（※1）を結び、推薦・支持を決定し、各地で市民・野党共闘の一角を担っています。残された日数はわずかです。今を生きる私たちだけでなく、国内外の将来世代や「地球ひとつぶ」の未来をかけて、この総選挙での各地の勝利に向けて、仲間たちと共に力を尽くしましょう！

※註

1) 政策協定書(基本型)

http://greens.gr.jp/uploads/2021/10/2021_seisakukyoutei_model.pdf